

看護だより

NURSE

平成 18 年 12 月 1 日

あちこちでイルミネーションがみられるようになり、にぎやかな町並みになってきました。今年も残すところあと 1 ヶ月。何となくあわただしい気分になりますが、やり残した事はありませんか？一年の仕上げをして、新しい年を迎える準備をしましょうね。



研修報告

認知障害を伴う高齢者の看護

平成 18 年 10 月 16 日 西 4 階病棟 鈴木 俊紀

現在認知症老人は 189 万人いると言われており、10 年後には 262 万人に達すると言われています。認知障害老人の看護のポイントは「本人がどう感じているか」が大切で、その瞬間を幸せに、楽しく過ごしてもらうためにはどうしたらいいかを考えることです。認知障害老人は新しい思い出を作る事ができません。それは記憶障害があるためで、新しい記憶から失われていくことが多いからです。しかし、記憶も残る場合があります。楽しい時間を共に過ごした人には、「この人は楽しい人だ」とか、不快なことをする人は、「この人は悪い人だ」などの感情的な記憶は残る事があるそうです。認知症老人がこの病院を見ると、「何か分からないけどこの病院はいい病院だ」と思い出してもらえそうな看護ができれば最高です。

災害看護活動研修会

平成 18 年 10 月 17 日 人工腎センター 松崎 由里子

「災害支援ナースの役割を理解するとともに災害看護に必要な基本的知識、技術を習得し実践できる能力を養う」を目的に行われた。2 名の救急看護認定看護師を講師に、愛知県の看護協会の災害支援ナースが行ってきた活動や派遣のプロセスなどの説明があり、災害支援ナースへの参加を呼びかけていた。また、国際緊急援助隊（JDR）についての話では、災害看護の特徴は限られた資源・時間の中で行われる看護実践である。ケアの不足や二次的問題・合併症のリスクなどがある中で手をさしのべ、さまざまなコミュニケーション手段で孤立無援でないことを伝えていくと述べていた。目的にある技術の習得や実戦能力を養うまでの講義ではなかったが、災害看護について公立病院の看護師として院内だけでなく広い視野で考える必要があると思った。

がん看護

平成 18 年 10 月 23 日～10 月 27 日 西 4 階病棟 安達 しのぶ

今回愛知県がんセンター、愛知国際病院（ホスピス）での研修に参加し、色々な講師の方から興味深い話を聞くことができた。臨床で注意すべき点として、患者や家族はトータルペインを抱えており、目に見えるものだけで判断してはいけないということ。また診断され治療が始まったときから緩和治療を開始する事が大切で、ギアチェンジするように突然治療が変わるものではないということが印象に残った。ターミナル期における看護については、正解というものではなく「その人らしさ」をどれだけ感じてもらうかが重要という話もあった。

5 日間という長い期間で色々なジャンルからの話を聞く事ができ、自分の看護に生かしていかなければならない内容も多かった。今後の実践に結び付けたいと思う。

滅菌 基礎コース

平成 18 年 10 月 25 日～10 月 27 日 手術センター 森田 陽子

滅菌機器を取り扱っているサクラ精機株式会社主催の滅菌基礎を、3 日間に亘り受講してきました。現在感染管理が重要視されるようになり、中材・手術センターはとても重要な位置にいると思います。

手術センターでは、高圧蒸気滅菌装置を使用しており、昨年から B I・C I・B & D などの滅菌判定テストを使用して滅菌保証をおこなっています。研修の受講により、当センターでは滅菌を裏付ける根拠の文章化が不十分なことや滅菌装置自体の機能チェックも必要であり、月に 1 回は施設で自主点検を行わなければならない事を知り、直ちに滅菌に対するマニュアルの見直しが必要だと思いました。

滅菌装置の機能チェックには専門知識が必要であり、現時点ではボイラー課や業者の協力が不可欠になりますが、機能チェックが可能な資格である第一種圧力容器取扱作業主任者は看護師でも取得可能なので、滅菌に関する知識を深める為にも資格取得も良いのではと思いました。まずは出来る事からと、マニュアルを見直して行こうと考えています。

平成 18 年度院内発表プログラム

演題名	所 属	発表者
縛るキーパーから着るキーパー（着衣くん）への試み	東 5 階病棟	青木 美佐子
側臥位におけるマジックベット?使用方法の検討	手術センター	池谷 麻里
救急外来における小児科受診した患者の実態調査から学んだこと	外来	村上 明美
入院時刻インテ-ションを見直した結果	3 階病棟	坪井 祐樹
患者の自己管理能力を高めるためには ～ C A G 検査を受けた患者の日常生活指導を見直して～	西 4 階病棟	竹本 真夕
スーハーして楽になろう ～継続できる呼吸法の指導～	東 4 階病棟	竹内 俊樹
加齢に伴う筋力低下予防～オリジナル透析体操で貯筋～	腎センター	鈴木 智恵
分娩第 4 期の看護の取り組み ～リラックスするために～	2 階病棟	伊藤 千代美
患者の痛みに寄り添うために～医療者の共通理解をめざして～	西 5 階病棟	亀井 明美
看護師夫婦の生活観についての実態調査を行って	主任会	竹本 和美
看護師のキャリア発達を支援する配置転換を考える	師長会	水谷 英子

お知らせ

12 月 12 日(火) 卒後 2・3 年目研修 チームリーダー体験発表会

17:15～

5 階会議室